

議会だより

第 46号

平成30年 9月 1日 発行



議会日誌

平成30年 4月～ 6月

- | | |
|--|---|
| 4月 17日 紀宝町民生委員児童委員協議会総会 | 5月 26日 紀宝町シルバー人材センター総会（設立10周年記念） |
| 18日 飛雪の滝キャンプ場リニューアルオープン記念式典 | 28日 町村議会議長・副議長研修会（東京都） |
| 19日 三重県町村議会議長会 理事会及び県施策説明会 | 30日 地方創生まちづくり特別委員会
教育民生常任委員会 |
| 22日 紀宝町母子寡婦福祉会総会 | 31日 近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）
建設促進期成同盟会総会 |
| 23日 紀宝町老人クラブ連合会総会、紀宝町遺族会総会 | 6月 4日 熊野川改修促進期成同盟会 理事会・総会（新宮市）
紀宝みなとフェスティバル実行委員会 |
| 26日 紀宝町身体障がい者福祉会総会・親睦会 | 6日 リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会（東京都） |
| 5月 1日 第89回紀南地区メーデー（熊野市） | 7日 全員協議会 |
| 2日 南三重活性化協議会通常総会（松阪市） | 8日 2018年国民平和行進 出発式
港湾・井田海岸浸食対策特別委員会
環境保全対策特別委員会 |
| 7日 議員視察研修（青森県藤崎町）（9日まで） | 12日 議会運営委員会 |
| 10日 熊野川河口に橋を架ける会 理事会・総会（新宮市） | 13日 紀宝町交通安全対策協議会 |
| 14日 国道169号線改良促進連絡協議会通常総会（熊野市）
熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会 理事会・総会（熊野市） | 19日 第2回町議会定例会・第1日目 |
| 15日 紀宝地区交通安全協会 交通安全大会 | 20日 第2回町議会定例会・第2日目 |
| 16日 熊野川河口大橋建設促進議員連盟 理事会・総会（新宮市） | 25日 南牟婁郡交通安全対策協議会総会及び委員会（御浜町） |
| 17日 議会運営委員会
三重県町村議会議長会 理事会・総会（津市）
紀宝町商工会通常総会 | 26日 熊野・南郡正副議長会（御浜町） |
| 18日 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 | 28日 リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会総会（津市） |
| 22日 熊野・南郡正副議長会（熊野市） | |
| 25日 総務産業常任委員会 | |

6月定例会

一般質問

(要約)

新宮紀宝道路

・新宮紀宝道路の進捗について

向井 健雅 議員



議員

平成30年第2回紀宝町議会定例会は、6月19日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告、広域連合議会議員報告を行い、続いて、町長から、第1回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、5人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。

第2日目の6月20日には、議案審議に入り、専決処分承認2件、紀宝町農業委員会委員の選任について14件、条例の廃止、制定、一部改正など5件、財産の処分について1件、町道路線の認定について1件、工事請負契約の締結3件、平成30年度一般会計補正予算、特別会計補正予算(2会計)を審議して、原案どおり可決し、閉会しました。

一般質問に入る前に、昨日の地震で死亡された方、また無差別というか、新幹線の中で起こった殺人事件、そして痛ましい5歳の子の虐待死というような大変痛ましい事故・事件が相次いでおります。そのことに對し、まずはお悔やみを申し上げます。それでは、新宮紀宝道路の用地交渉の進捗について伺います。

産業基盤整備担当理事
新宮紀宝道路の紀宝町内の道路予定地としましては

250筆あり、6月12日現在の進捗状況は、250筆中、197筆、78・8%の取得状況となっております。面積では、44・158・66平米の買収が完了したということでございます。

議員

用地については、5月15日以降、15%ほど増えてございます。その次に、代替地の状況について、これも2月15日時点では、17区画中、契約済が9区画となっておりますが、それ以降の進捗については。

産業基盤整備担当理事

代替地の申込みにつきましては、現在、5箇所、17区画の申込みを頂いておりまして、そのうち、5箇所、15区画につきましましては、すでに契約を締結している状況であります。

議員

この1か月で、用地取得に關しては、15%という伸びをしておる中で、用地の方のご協力、プロジェクトチームの努力によって、こういう数字になってきたと思われまします。次に、工事の発注状況につ

いて伺いたいします。

産業基盤整備担当理事

平成30年度の国の新宮紀宝道路予算についてご報告させていただきます。紀宝町域につきましましては、11億9200万円となっております。内訳は、工事費5億9300万円、工事内容といたしまして、埋蔵文化財調査・紀宝ランプ橋ほか下部工事となっております。その他、測量設計費1億3400万円、用地費及び補償費4億6000万円、船舶及び機械器具費500万円という内訳でございます。

教育課長

新宮紀宝道路に伴う埋蔵文化財調査につきまして、ご報告させていただきます。文化財保護法の定めにより、現在、新宮紀宝道路計画地内における鶴殿西遺跡の埋蔵文化財発掘調査を計画的に実施するため、国土交通省が発注し、三重県埋蔵文化財センターが実施者となり、6月11日から事業地内の用地取得が完了した調査対象範囲約630平方メートルにつきまして、重機による発掘調査が開始されており、7月18日までに完

了予定と伺っております。なお、今後、調査結果の状況や用地取得の進捗状況に合わせて、事業地内における必要な埋蔵文化財発掘調査を、順次実施していくとごさいます。

議員

この調査結果によって工事に關して問題点が出てくることとがあるのか。

教育課長

今回の発掘調査の結果、土器等の遺物が発掘された場合がございますが、三重県教育委員会に確認しましたところ、通常は専門の調査員による遺物等の詳細な記録保存が行われたうえで、開発事業が継続されることとなります。

これらの措置は、開発事業によって失われる遺構や遺物の状況を詳細に記録し、埋蔵文化財そのものに代えて保存するものでございます。そういった対応を行って、調査主体の三重県埋蔵文化財センターにより、事業主体である国土交通省に報告されるときも、三重県教育委員会と町教育委員会とが、得られた情報を共有していくということになります。

議員

平成25年に事業化が決定されて5年経つわけでございますが、用地取得に關しても、77・8%という数字になつてございます。それについて、町長の見解をお願いしたいと思います。

町長

新宮紀宝道路につきましては、25年に事業化されて、この地域、待望の熊野川河口大橋として新宮紀宝道路が実現されたということで、当地域にとつても大変喜ばしく思っております。これからの地域の将来を考えた時に、1日も早い完成に向けて、進めていかなければならないと思っておりますし、そういった意味で昨年から三重県のプロジェクトチームを中心にして、地権者の皆様方いろいろなお願いを申し上げてまいつたところでございます。当初は、いろいろな課題もございましたけれども、地権者の皆様方の深いご理解と本当に温かいお気持ちで、こうやって約80%の方にですね、現段階で、ご契約をいただいたというところでございます。我々としても、大変嬉しく

思っておりますし、これからも鋭意、文化財調査等も行いながら、工事実施に向けて着手できるように取り組みを進めてまいりたいと思っております。あと約20%の地権者の皆様方にも丁寧なご説明を申し上げ、ご理解をいただけるように、今後とも、国あるいはプロジェクトチーム等として連携をしながら進めていけるように努力してまいりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

議員

どんな事業においても、「100%良し」という事業は無いというふうに、私は思っております。ただ、その良しとしない部分について、できる部分、できない部分は確かにあるのかと思ひますが、それについては今後も努力をしていただきたいと思っております。

これまで用地関係者の皆さん、そしてプロジェクトチームを中心とする皆様のご努力により、ここまで来たわけでございますが、私としても、早期完成に向けて、今後、より一層の努力をしていただきたいというところをお願い申し上げます。



西村 喜久男 議員

- ・林道の整備について
- ・河川の安全対策について
- ・営農者への草刈の支援について
- ・ドローンを活用した取り組みについて

林道の整備について

議員

今年4月に、浅里地区の飛雪の滝キャンプ場がリニューアルオープンしました。集客のひとつとして、浅里・桐原線の林道をサイクリングコースとして整備する取り組みはどうでしょうか。

産業建設課参事

自転車が安全に通行出来るよう、落石防止や舗装の補修など、全長16・4kmにわたり対策をするには多額の費用が

必要になってくることから、非常に困難であると考えられます。

議員

林道における路肩の崩落など、道路の傷む原因のひとつとして、側溝のごみ詰まりで機能していない箇所があり、その整備についてどの様にお考えですか。

産業建設課参事

町で管理している林道は8路線、延長約39kmあり、維持予算を計上して維持管理を行っています。限られた予算の中で行っており、引き続き緊急度の高い箇所から対応をしていきたいと考えています。

議員

杉山地の道路崩落箇所整備について、大変心苦しいのですが、発災後7年を迎え、地権者の世代も代わりました。今後、豪雨や台風で災害状態の拡大など、今後のこと考えますと、ぜひ復旧及び整備をしていただきたいと思ひます。

産業建設課参事

新たな所有者の方から意向確認させていただき、可能であれば、県の方に要望をさせていただきたいと思ひます。

河川の安全対策

議員

7年前の台風12号の時には、流失した材木が橋に引っかかり川が氾濫して、桐原センターが大きな被害に遭いました。昨年の台風21号でも材木が橋に引っかかりました。現状、倒れかけの材木があり、出来るだけ早く撤去していただきたいと思っています。今後の対策をどの様にお考えですか。

産業基盤整備担当理事

三重県管理の河川でありますので、状況を報告して対応をお願いしております。台風シーズンを迎え、引き続き強く県に対応を要望していきたいと思っています。

議員

平尾井地区で、家屋の側の谷川が氾濫し浸水する箇所、昨年の台風21号で川の護岸の被害に遭い、家の倒壊が心配されている箇所に対する対策はどの様にお考えですか。

産業基盤整備担当理事

県管理河川の護岸整備等については、人命や家屋浸水被害等の対策箇所等を総合的に優先順位等を判断しながら順次整備を進めていただいている状況です。今回お聞きした箇所も含め、引き続き要望していきます。

営農者への草刈り支援

議員

後継者不足や高齢化が進み、管理できなくなった田んぼ等を耕作依頼している方も増えています。草刈り労力が大きなウエイトを占めるようになっていきます。今まで刈っていた箇所までもでも処理できない状態です。

対策の一例として、相野川の岸の雑草を、相野谷川のよに草刈りをしていただく支援の取り組みについて、どのようにお考えですか。

産業基盤整備担当理事

一級河川、相野谷川の国直轄部分については、国の維持管理として、毎年2回、定期的に堤防等の草刈りを行っています。一級河川、相野川は県管理河川であり、確認しますと、地域住民が自主的に行

う河川の草刈り、清掃等の活動を支援する河川美化ボランティア活動推進事業や、地域の自治体等に委託する草刈り業務の委託制度で、除草作業等を行っています。町としては引き続き、河川美化ボランティア活動推進事業等を活用していただき、地域住民の皆様にご協力いただきたいと考えております。

議員

耕作者の高齢化に伴って、今まで刈れていたところが刈れない状況が起きています。町道と耕作地との境界が、斜面や広い箇所の草刈り依頼がされた場合の対応や取り組みは、どの様になっていますか。

産業基盤整備担当理事

町による道路や河川などの草刈りは、道路交通の安全確保や視認性確保など、優先度の高い箇所の草刈り対応をしている状況です。

耕作地と隣接している箇所については、耕作者の皆様、年一回、各地区の杜明運動において、道路美化活動、除草作業など、地元の皆様のご協力をいただく中で、美化や景観等の環境を維持していきたい

と考えております。

ドローンを活用した取り組み

議員

職員の認定資格の受講についてどの様にお考えですか。

総務担当理事

現在、国家資格制度、免許制度というのはまだ確立されていません。民間が実施している認定資格というのがあります。本町においては、現在のところ資格がなくても、ドローンについては飛行する事が出来ます。

また、災害時については許可申請を省略しても、事後報告でドローンを操作できまので、直ちに民間の認定資格を受講するとは考えていませんが、ドローンの普及がかなり見込まれますので、動向を見守りながら、認定資格の受講等を検討したいと思っています。

議員

災害時に、危険箇所の情報収集として、有効な手段だと思っています。どの様にお考えですか。

総務担当理事

ドローンは災害時に有効な手段ですが、操作ミスによって二次被害を起こすことも考えられます。

まず、このドローンを操作者が適切に操作できるように、実技講習などを積み重ね、災害時に活用できる操作技術の向上を図っていききたいと考えております。

現在、総務課防災係では、国立研究開発法人防災科学技術研究所から、1台無償貸与でドローンを借りております。色々なドローン講習や、実技講習等も指導いただけますので、この講習を活用しながら操作技術の向上も図っていききたいと考えております。





莊司 健 議員

・森林環境税について
・所有者不明の民有地について

から繰り出しをして、事業を実施していくものです。

議員

予算の事業主体は紀宝町です。

産業建設課参事

森林環境譲与税は、間伐や人材育成、木材利用の促進や普及啓発などの財源になります。当町ではこの譲与税を活用し、森林整備等に取り組みます。実施主体は紀宝町です。

議員

平成30年度林野庁予算で、「意欲と能力のある林業経営体や同経営体が森林の経営・管理を集約化する地域に対し、間伐や路網整備、主伐後の再造林等を重点的に支援」とあります。紀宝町や周辺に該当する経営体がありますか。

産業建設課参事

地球温暖化対策として導入予定の森林環境税に先駆けて実施される、森林環境譲与税の借り入れとはどのようなのですか。

産業建設課参事

森林環境税は、次期通常国会の税制改正において審議されると伺っております。森林環境譲与税は、森林環境税が平成36年度からの徴収となり、それに先駆けて特別会計

この意欲と能力のある林業経営体は三重県が募集し、伐採後の植林及び保育を行える事業体が対象になります。

議員

林業現場の感覚では、木材を皆伐搬出しても再造林費用は出ない。そこで経営管理を集積、集約化はどういうことですか。

産業建設課参事

利用期を迎えた山林が増加する中、境界等が分からず施業できない森林が増加しています。その荒廃森林の解消と多面的機能育成のため設けられ、経営の集約化は、森林をまとめ生産効率を高めるものです。

議員

管理を委託する側は、営々と育てた木材が二束三文で経営体によって扱われ、山林所有者への見返りがないのではと危惧します。その時、事業主体として紀宝町の役割はどのように。

産業建設課参事

紀宝町の役割は、利用期を迎えた森林等の所有者に対し意向調査をし、所有者自らが森林管理行えない場合、町が森林管理の委託を受ける。経

営可能な森林は、意欲のある林業経営体へ委託。不採算の森林は、町が管理することになります。

議員

経営体に委託する場合、林地情報の提供は町になります。かねてから地籍調査、正確な林地台帳の整備を指摘しておりますが、林地の正確性、整合性をどう取り扱いますか。

産業建設課参事

森林環境譲与税は、境界明確化の費用に充当でき、所有者または詳しい人に意見を伺い、森林境界を明確化させます。

議員

これを機会に、明確化を進めてください。自身の山林を正確に把握した林家に協力を要請し、周辺に広げるのが現実です。経営体に委託するときは念を入れて。

所有者不明の民有地

議員

町に所有者不明の民有地がありますが、何件、何ヘクタールですか。

住民サービス担当理事

平成30年度で民有地は47989筆あり、土地の場合、課税標準額が30万円以上になった所有者に固定資産税を課税します。納税通知書が返送され、その後の調査でも判明しない納税義務者は15名、土地の合計筆数は81筆、面積は約9ヘクタール。理由は相続登記がされず、相続人や納税管理人の所在不明です。法定免税額未満の所有者は、納税通知書が発送されず把握できていません。

議員

所有者不明の土地が公共事業の対象になった場合、用地交渉等、苦勞すると思います。その取り組みは。

産業基盤整備担当理事

今国会で成立した特別措置法は、土地収用法の特例、その他特別の措置を講じるもので、登記制度の変更では、特例で登記官は、登記未了地に対し事業実施者の求めで調査、該当すれば登記に記録、相続人に対し相続登記を勧告します。地域福利増進事業実施のため、道路、公園、その他地域住民の福祉又は利便の増進を図る施設を設置する場

合、所有者不明の土地につき
県知事の裁定で上限10年の土
地使用権設定が可能となりま
した。また、所有者不明土地
の収用又は使用は収用委員会
から県知事の裁定に代わり、
手続き期間が短縮されること
となりました。その他不在者
の財産及び相続財産の管理に
関する民法の特例として、地
方公共団体等の長が所有者不
明土地の適切な管理のため、
家庭裁判所に対し、民法の規
定による不在者の財産管理に
ついて必要な処分命令又は
相続財産管理人選任の請求が
可能になります。

議員

相続登記義務化とのことで
すが、今まで登記ができず放
置されている事例もあると思
います。情報があれば伺いた
い。

住民サービス担当理事

税務住民課の取り組みとし
て、相続登記が現在任意であ
るため、今までと同様に土地
や建物の所有者が亡くなら
れ、納税管理人をお願いする
際に、相続登記をお勧めする
など対応していきます。

議員

登記に関して、多くの難し

い問題を含んでいます。この
まま放置すれば、町の将来に
大きな負債を残すことを危惧
します。

今回山林境界について、受
託地が明確化されますし、農
地住宅地についても、境界の
明確化、地籍調査が大変重要
になります。今まで議会にお
いて地籍調査の話が多く出
ましたが、折を見て早く実施
していただきたいと思います。



浅田 和江 議員

・ AEDについて
・ 浅里飛雪の滝キャンプ場
での傷病者発生時の対応
について

AEDについて

議員

AEDについて現在の設置
状況はどのようになっていますか。

総務担当理事

本町では平成19年度から公
共施設などへ設置しており、
町が管理しているAEDが、
役場をはじめ小中学校や保育
所、幼稚園、公民館、体育館
など計29箇所、32台を設置し
ています。

公共施設以外の設置状況に
ついては、AED設置状況を
ホームページで情報提供して
おります。日本救急医療財団

全国AEDマップで、町内の
福祉施設や民間企業等の設置
状況をホームページ上で確認
できます。公開されている情

報は設置者、設置管理者から

日本救急医療財団のホームペ
ージに設置登録情報を公開す
ることに同意を得たものとな
っており、限定的な情報です
が、公共施設以外での設置状
況について参考になると考え
ています。この設置状況は、

各地区にまんべんなく、漏れ
のないように設置していま
す。これ以外の民間で、例え
ば高齢者福祉施設等は、全施
設に設置されているので、地

域的には人口的な規模から、
だいたい漏れなく配置できて
いると思います。

議員

町の地図のほうに反映され
ていないので、その情報と
いうのがあるというのも、な
かなか伝わっていないと思っ
たのですが。

総務担当理事

現在ホームページで公表し
ているのは、町の管理の29箇
所の部分だけです。周知方法
については、少し勉強させて
いただきたいと思います。

議員

他所の自治体では、民間所
有も含めて一覧表を掲示して
ところもあります。いかが
ですか。

総務担当理事

AEDの設置箇所について
は、熊野市消防本部紀宝分署
とも相談させていただいて、
出来るだけ分かりやすいもの
を考えていきたいと考えてい
ます。

議員

AEDを使う人のトレーニ
ングについては、どのように
お考えですか。

総務担当理事

救命講習の実施状況は、平

成29年度、熊野市消防紀宝分
署管内では823名の方が受
講をしています。小中学校で
は毎年、教員や保護者等が参
加していると聞いています。
消防署と連携を図りながら、
様々な団体に救命講習の必要
性を周知して人材育成を図っ
ていきたい。

議員

救命の講習実施には、町と
してはどのような関わりをし
ているのでしょうか。

総務担当理事

救命講習は各団体が紀宝分
署に依頼をして実施するの
で、直接的な関わりはありま
せんが、職員も救命講習等の
研修会には積極的に参加して
講習を受けている状況です。

議員

小中学生を対象に救命講習
を実施している自治体もある
ようですが、どのようにお考
えですか。

教育課長

小中学生への救命講習です
が、年1回以上、教員、児童
生徒、保護者を対象として行
っています。

議員

AEDの設置場所で、施錠
していると取り出させないと

ころがありますが、どのような
にお考えですか。

総務担当理事

町内の救急車の到着平均時間
が約11分、AEDと併せて救急
車を要請することも大事だと思
います。誰でも利用できるよう
な保管方法は検討していく必
要があると思うので、今後の課
題とさせていただきます。

キャンプ場での傷病者 発生時の対応

議員

浅里飛雪の滝キャンプ場での
傷病者発生時の対応について
伺います。安全に楽しんでいた
だくために、宿泊者、来場者の
安全について、どのような取
り組みをしていますか。

企画調整課長

宿泊者や来場者が、ケガや
具合が悪くなった場合の対応
としては、軽傷の場合には、
本人やキャンプ場備え付けの
救急セットで対応、重傷の場
合は、救急搬送等、消防署に
連絡して対応することになり
ます。

スタッフには、養護教諭免許
を取得されている方や看護師
もおり、そのスタッフが主とな
って対応することになります。
夜間対応については、地元区
の方々と、地域おこし協力隊
と宿直業務の委託契約を締結
し、宿直業務・緊急連絡待機
業務の2パターンで対応してい
ます。また、夜間緊急連絡先、
消防署、医療機関等の連絡先、
医療相談窓口の連絡先等も記
載した緊急時の連絡表も作成
し、宿泊者にも、受付時に緊
急連絡表を渡しています。

カヌーの体験等のアクティ
ビティーの開催も予定してい
ますので、水難事故等が発生
しないように、お客様への周
知や、開催します町や地域お
こし協力隊側も、事故防止に
細心の注意を払いながら取
り組んでいます。

7月、8月の繁忙期には、た
くさんのお客様が来場される
見込みですので、傷病者等の
緊急事態がいつ発生しても、
あわてずに対応できるように
、努めてまいりたいと考えて
おります。

議員

看護師、看護教諭は救急

対応はしていると思うが、
他のスタッフの方はいかが
ですか。

企画調整課長

夏休みの繁忙期を迎える
にあたり、6月下旬に、キャ
ンプ場のスタッフ関係者を
集め、応急手当講習を開催
し、知識、対応の向上に努
めてまいりたいと考えていま
す。

また、定期的に、講習会
の開催や、講習内容の充実
を図り、有事の際には、一
次救命処置をスムーズに実
施し、救急隊に引き継げる
ように、傷病者への対応力
の向上に努めてまいりたい
と考えます。

議員

お客様の安心と、スタッフ
が落ち着いて行動するため
にも、十分な準備とトレー
ニングが必要だと思います。

また、AEDについては設
置場所が誰にでも分かるこ
と、いつでも取り出して使
えること、取り扱う人を増
やしていくことが重要だと思
います。

設置したことで満足せず
に最大限、有効に活用され
るような取り組みをお願い
します。



原 章三 議員

・JA三重南紀農協の合併
問題と相野谷店の廃止に
ついて

他

JA三重南紀合併問題と 相野谷支店閉鎖

議員

5月21日、JA三重南紀か
ら組合員に対し、9月末で
相野谷店の廃止と合併問題
の意向が発表されました。
組合員や地域住民からは不
安や戸惑い、怒りの声があ
がっています。

またこの問題について、
行政にも知らされず行われ
たことが大きな問題である
。これまでJAと行政は地
域を支える二本の柱として
地域を支えてきました。そ
のJAが儲か

らないから撤退するのは、
一方的な企業倫理にしか
ないと思います。いつJA
から知らされたのか。

産業建設課参事

これまで合併問題と相
野谷店廃止については噂レ
ベルで聞いていました。JA
側から説明を受けたのは、
6月6日の総代会以降で
す。

議員

平成23年、紀伊半島豪
雨災害の折にはライスセン
ターが壊滅的な被害を被
り、JA側も再建不可能と
言ってきたが、組合員の
強い要望と行政の補助で
現在に至っている。合併
後においても、現行サー
ビスを下回らないよう行
政としても申し入れて
もらいたい。

産業建設課参事

町としても補助を行っ
ているライスセンターの
運営、農指導の取り組
みを低下しないよう指
導してまいりたいと考
えています。

土砂災害警戒区域指定 と地方創生

議員

三重県では土砂災害から人

命を守るため、土砂災害法に基づき、基礎調査を行ってきました。当町では鮎田地区を除き、ほぼ終了したと伺っています。しかし、特別警戒地域に指定されますと新たに住宅建設や増改築をする場合、RC工法であるとかコンクリート擁壁を施さなければなりません。

現在、国では補助金制度があると言っていますが、その内容はどうなっていますか。

産業基盤整備担当理事

危険住宅の撤去費、移転に要する費用は、一戸あたり、補助限度額は80万2千円、建設助成費では、金融機関利率は、8・5%を上限として一戸あたり415万円です。

議員

この調査方法では、「目視で傾斜角度30度以上で判断する」となっています。土質や人工林、広葉樹、雑木林といったことが加味されていません。

実情にそった調査をすべきではないか。

産業基盤整備担当理事

毎年、全国では土砂災害が多発しており、これらすべて

の調査ということは、現状予算では難しいと考えます。

議員

レッドゾーンに指定されますと、人が住めない地区になります。若者定住、人口減少対策を考えると、新たな開発で若者定住を図っていくことが大切であると考えます。

跡田川町道転落防止

議員

この件については、これまで何回か県に対し要望してきました。増水時や通学時の転落防止対策については、注意喚起のみで対策が講じられていません。保護者からも早く防止対策を行ってほしいとの要望が出されています。町独自の対策はできないのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

町が実施する場合は、ガードパイプを設置していくことになりませんが、道路がかなり狭くなります。道整備交付金を活用することになります。が、厳しい条件となりますのでご理解願います。

交通事故防止対策

議員

高齢者ドライバーの増加に伴い、大里地内でも交通事故が後を絶ちません。特に①津本永田口バス停、②永田公民館交差点、③田代資料館下カープが立木で見えないなどの苦情が寄せられています。早急な対策を要望します。

産業基盤整備担当理事

輪中提高上げ部においては国交省と現場立会を行い、注意喚起看板や路面標示の整備を検討し、町道倉崎線、農道永田線についても同時に施行できるよう要望しております。

総務担当理事

永田公民館前交差点については、信号機や横断歩道は交通量からして現時点では困難とのことです。田代資料館下カープについては、県に要望しております。

学校給食費無料化と助成制度について

議員

現在子どもの食育、ひとり親家庭の貧困問題が依然深刻化するなかで、給食費無料化、助成制度を実施している自治体が増えていますが、紀宝町の実施状況はどうなっていますか。

教育課長

就学援助費の実績として、平成29年度は児童生徒の合計70名、259万1千円の援助を行っており、就学奨励費の実績として児童生徒の合計41名、76万7千円となっています。

議員

町内小学校では一食あたり200円、中学生で220円となっています。全国平均では、一か月あたり小学校で4233円、中学校で4929円です。しかしその他に教材費、実習教材費、部活動費、修学旅行費、学校納付金などで、小学校では約10万円、中学校では18万円必要といわれています。

大紀町では子ども1人につき8割の援助を行っています。全国的にも子ども2人目では半額、3人目では無料という自治体もあります。

す。紀宝町でも子育て支援の立場で無料化、助成制度を行うべきではないか。

教育課長

学校給食法に基づき、食料費は保護者負担となっておりますのでご理解願います。

相野谷中学校における部活動

議員

相野谷中学校では児童数の減少で、子どもたちができる部活動が限定されています。矢淵中学校吹奏楽部は、立派な先生の指導で非常に高い演奏内容が評価されています。今後相野谷中学校でも部活動として吹奏楽をやりたいという生徒がいれば、門戸を開放していただきたい。

教育課長

中学校の部活動は、教育活動の一環で各学校の管理の下で行われる活動です。教育委員会としては生徒の自主的、自発的な参加のもとでスポーツ、文化、科学等を親しませ、地域の実態を踏まえながら学校長に助言してまいります。



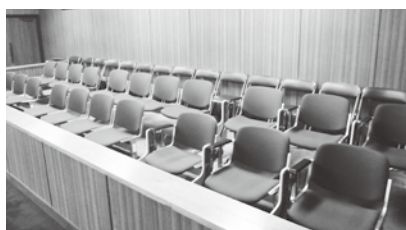
次回 平成30年9月18日より開催予定

議会を傍聴してみませんか？

紀宝町をより良い町にするための議論を交わしています。



議場の様子



議場傍聴席。40席用意しています。



本議会では、町民の皆さまの生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされております。

本議会は議事の公開の原則により、会議中、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。
町政への理解を深めていただくためにも、皆さまの傍聴をお待ちしております。

◆本議会開催場所

紀宝町役場 3階・議場

◆開催予定日時

平成30年9月18日
午前9時より

◆傍聴の手続き

- ① 紀宝町役場庁舎内3階の議会事務局で受付を行ってください。
先着順にて受付しています。
※傍聴席は40席です。
- ② 議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

◆注意事項

- ① 言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。
- ② 飲食または喫煙をしないでください。
- ③ 携帯電話の電源をお切りください。
- ④ 写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

◆お問い合わせ

紀宝町議会事務局まで
ご連絡ください。
☎ 0735-33-0342

平成 30 年度 議員研修

青森県藤崎町



初夏の岩木山

「みかん」と「りんご」

両町の物産交流は、

未来に大きな可能性を秘めた原石

研修目的

青森県藤崎町と紀宝町においては、平成27年度から両町の物産交流（交換販売）にとどまらず、新たな商品、新たな文化、新たな情報、新たな価値観を生み出すために、地方と地方が連携する「ローカルtoローカルと新・連携プロジェクト」を実施しています。

今回の研修は、交流を進めているりんご「ふじ」の発祥の地である藤崎町の特産品開発や、物産振興等の取り組み状況、地方創生事業等を学ぶとともに、物産販売施設の視察を行い、議員の資質向上と今後の両町のさらなる深化を図ることを目的として、視察研修を実施いたしました。

藤崎町の概要

藤崎町は津軽平野の中央部に位置し、青森市そして津軽地方の中心地である弘前市と隣接しています。面積は37.29km²、人口16,000人の町です。目の前には岩木山（津軽富士）がそびえ、はるか後方には八甲田山を目にすることができ、国道7号線と国道339号線、JR奥羽本線とJR五能線が走り、青森市と弘前市、五所川原市を結ぶ交通の要所になっています。藤崎町は厚生労働省の、雇用機会の不足している地域が、それぞれの地域の特性を活かし、創意工夫を凝らして雇用を生み出す取り組みを支援する『実践型地域雇用創造事

地域間交流の意義

業』において、平成28年度の第1次採択地域として、事業の採択を受けました。

地域間交流には、経済的側面と文化的側面があります。

経済的側面：物産の交流
文化的側面：文化・スポーツの交流。人と人との交流。



紀宝町（三重県）と藤崎町（青森県）の地域間交流について、気候、風土、物産の全く異なる二つの地域、特に物産交流については、経済効果が大きいと期待できます。

「みかん」と「りんご」の物産交流は、中間を通さず直接やり取りすることで、お互いに大きな効果が生まれます。物産交流は一方だけに経済効果が生まれるようではその交流は長続きしません。物産の地域間交流はお互いにプラス効果が生まれれば、より長続きすることになります。

両町には「みかん」と「りんご」という主力農産物が豊富にあります。それを生産者

直接の価格でやり取りし、そして相手側のニーズに合わせて

た品質を用意することで、双方の地域住民、双方の生産者に利益をもたらすことになりま

す。そして、「みかん」と「りんご」を柱にした交流は、それに付随する物産にまで発展していきます。そのことは一次産品、二次産品の経済効果を生むことになり、また、両町の特産品を活用したコラボ商品の開発も可能になります。

まとめ

南の紀宝町、北の藤崎町。

「みかん」と「りんご」というお互いにはないものが両町の主力品であることから、積極的に物産交流に取り組み、地域間交流を進展させれば、まさしく「ローカルtoローカル」が機能することになります。

「ローカルtoローカル」が機能するためには、その仕組みづくりが重要です。紀宝町において生産者、流通業者、行政が目的を一つにして課題に取り組めば、紀宝町の物産を藤崎町に送り出す仕組み（受注から発送まで）を構築することが出来ます。

藤崎町の物産を紀宝町で販

売する仕組みづくりも同時に進めていく必要があります。その仕組みの中で、お互いの特産品をお互いの町で販売することが、交流を確かなものにしていくことになります。

行政が「ローカルtoローカル」の環境整備を進めてくれました。次は生産者がその趣旨を的確に理解して取り組んでいかなければなりません。「ローカルtoローカル」を成功させ軌道に乗れば活性化に繋がることは勿論、自信にもなり、もうワンランク上の地域間交流に発展していきます。議会も応援していく中でオー

藤崎町の道の駅に並ぶ紀宝町の柑橘



藤崎町長から様々な取り組みの説明を受けました



りんご園の視察



次回定例会の予定

9月18日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（6月）

- 紀宝町税条例の一部改正
- 紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
- 紀宝町農業委員会委員の選任について（14件）
- 紀宝町副町長を置かないことの条例の廃止について
- 紀宝町副町長定数条例の制定について
- 紀宝町税条例の一部改正について
- 紀宝町公園条例の一部改正について
- 紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
- 財産の処分について
- 紀宝町町道路線の認定について
- 工事請負契約の締結
- 紀宝町立鶴殿小学校大規模改修工事について
- 鶴殿運動場大規模改修工事（グラウンド改修工事）について
- 鶴殿運動場大規模改修工事（照明改修工事）について
- 平成30年度 紀宝町一般会計補正予算（第1号）
- 平成30年度 紀宝町町営浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成30年度 紀宝町水道事業特別会計補正予算（第1号）

編集後記

第2回紀宝町議会定例会が開会された前日の6月18日7時58分頃、大阪府北部を震源とする地震が発生いたしました。地震の規模はマグニチュード6.1、最大震度6弱で、地震による人的被害は死者4名の内、2名がブロック塀の崩壊で、1名は家具が倒れたことによるものだそうです。被害に遭われた方のご冥福を心よりお祈り致します。当地域でも近い将来必ず起きると言われていますが、いつどこで起きるかわかりません。まずは自分達の出来ることから、耐震補強、家具の固定や、非常持ち出し品の確保などの備えと、日頃から危険な場所や、非常時の連絡方法など家族で話し合っておく事も必要だと思います。町でも地震・津波タイムライン策定に向けて取り組み中です。地震発生時は自分の身を守り、大揺れが収まってから火の始末をする。津波が心配される地域では出来るだけ早く高台に逃げましょう。（文責 西村）

「議会だより」（46号）

編集委員

西村喜久男
向井 健雅
大前 森重

